

市民意見を踏まえた基本方針修正の方向性について

項 目	意見等の要約	修正の方向性
1 日立市の基準	<p>ア これから子どもが少なくなるのに、2 学級や 3 学級が基準では学校がずいぶん減ってしまう。</p> <p>イ 1 学級でも、先生の目が行き届くなど良いところはある。</p> <p>-----</p> <p>ウ 1 学級では教育活動に限界を感じる。せめて、クラス替えができる 2 学級はあったほうがよい。</p> <p>エ 小規模校では 9 年間同じ顔ぶれとなり、切磋琢磨という点で物足りない。子どもは、入りたい部活動が無く悩んでいる。</p> <p>オ 学校は、勉強だけでなく人間形成の大切な場所である。幅広く豊かな教育が受けられるように、余裕のある教員配置、教育環境を整えてほしい。</p>	<p>① 適正な学校規模「小学校は各学年 2 学級以上、中学校は各学年 3 学級以上」は素案のとおり（修正なし）。</p> <p>② なお、「取組に当たっての留意事項」の観点から、必要に応じて柔軟な対応が可能となるように、「日立市の基準」を「日立市の目指すべき学校規模」と改める。</p>
2 取組に当たっての留意事項		
(1) 地域への配慮	<p>ア コミュニティと学校を切り離して考えるべき。子どもたちのことを優先に考えたい。</p> <p>イ 地域活動エリアである小学校区の再編、多様な機能を持ち地域住民の拠り所でもある学校が廃校になることよって、コミュニティが衰退・消滅してしまわないか心配である。</p>	<p>① 大前提として、学校適正配置の検討は、児童生徒の学習環境の改善を中心に据える旨を明記する。</p> <p>② 小中学校と地域との様々な関わりを踏まえて、素案で示した「学校が持つ多様な機能」に加え、「地域とのつながり」を新たな視点として追記する。</p>
(2) 新たに加える項目		
ア 児童生徒への配慮	<p>ア 親として、少しでも子どもの負担は小さくあってほしい。</p> <p>イ 新しい環境に、子どもたちが円滑に馴染めるような環境づくりを進めてほしい。</p>	<p>・児童生徒の新しい学校生活への適応を継続的に支援する旨を明記する。</p>
3 適正配置計画の策定	<p>ア 基本計画は、どのような中身か。全体のロードマップが分からない。</p> <p>イ 統合のスケジュールを具体的に示してほしい。</p>	<p>・保護者を始め関係者が子育て等の見通しを持てるよう、学校適正配置の全体像を示した上で、今後 10 年間に取り組む個別具体的な内容を明らかにする旨を明記する。</p>